

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT産業振興に係る情報発信事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

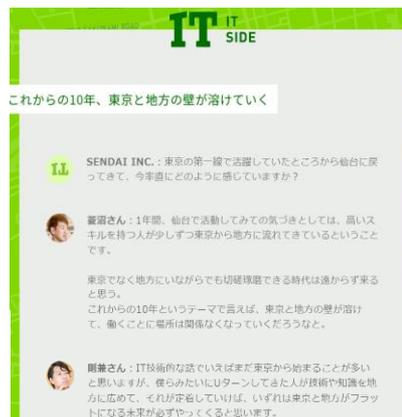
令和3年度決算額：4,000千円

令和3年度の取り組み

IT産業に関わる(又は興味をもつ)市域内外の人々の交流等のつながり創出・強化により、本市におけるIT産業の更なる活性化及びIT人材の地元定着・UIJターンの促進を図るため、Webサイト「SENDAI INC.」を使った情報発信を行った。

SENDAI INC.にて、地域で活動するITコミュニティやそれに関わる人、地域で活躍するIT企業に関連する様々な情報を掲載すること等により、本市がIT産業に関わる人々にとって魅力的な都市であることを発信した。

・掲載コンテンツ数 10件



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT活用推進事業・IT人材研修

仙台市産業振興事業団 IT活用推進課（産業振興課）

（連絡先：022-724-1125）

令和3年度決算額：21,513千円

令和3年度の取り組み

国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、テレワーク導入の支援を行った。

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開発や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を実施した。

地域企業を対象としたデジタルツールやテレワークの体験機会を提供するデジタル化体験イベントを開催し、展示会や講演等を実施した。

IT担当者として必要な知識・技術の習得し、社内のIT戦略を策定するなどIT化を率先できる人材を育成するため、新入社員向け・中堅社員向け・エンジニア向けの研修をそれぞれ実施した。

- ・テレワークサポートデスク相談件数 243件
- ・セミナー・イベント参加者数 延べ1,106名
利用者満足度 平均88.5%
- ・IT人材研修参加者数 延べ247名



(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

スタートアップ・エコシステム拠点都市推進

産業振興課

(連絡先：022-214-8278)

令和3年度決算額：4,695千円

令和3年度の取り組み

「仙台スタートアップ戦略」の策定に向け、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会の下に「施策検討委員会」を設置し、勉強会、意見交換会、施策検討ワーキンググループを実施した。

また、仙台・東北地域でスタートアップ企業支援に取り組む団体、首都圏等の大企業に対して、協議会への参画を呼び掛け、発起人団体12団体に加え、民間企業や公的支援機関、ベンチャーキャピタル、自治体、東北地域及び新潟県の国立大学等36団体が新たに協議会に参画した。(令和4年7月31日現在)

- ・意見交換会開催回数 5回
- ・施策検討ワーキンググループ開催回数 10回



勉強会・意見交換会



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会HP

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

グローバルスタートアップ創出

産業振興課

(連絡先：022-214-8278)

令和3年度決算額：34,375千円

令和3年度の取り組み

東北に集積する様々なリソースを活用し、革新的なプロダクトの創出に挑戦するスタートアップ企業などの成長を加速させることを目的とした集中支援プログラム「東北グロースアクセラレーター」を実施した。

プログラムでは、企業経営者や投資家、専門家などがアドバイザーとなり、スタートアップ企業などの成長に必要な知識のレクチャーや、課題解決のためのメンタリングを提供した。

また、スタートアップ企業などの更なる成長を支援するため、地方最大級の起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」と「TOHOKU STARTUP NIGHT」で成果発表の場を提供し、ビジネスマッチングや認知度の向上につなげた。



全体交流会

- ・応募総数 53件
- ・採択者数 20件
- ・資金調達額（支援期間中） 6億1,572万円
- ・成果発表会 参加者数 約480名



成果発表会

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

東北大学連携型起業家育成

産業振興課

(連絡先：022-214-8278)

令和3年度決算額：3,218千円

令和3年度の取り組み

東北大学の研究シーズ活用企業の創出・成長を支援し、雇用拡大・地域経済活性化を図ることを目的に、東北大学連携型起業家育成施設（T-Biz）の運営支援と、入居企業に対する賃料補助を実施した。

また、連携する支援機関による説明会の開催や、入居企業の支援ニーズの把握のため、年2回支援機関の関係者との面談を実施し、各支援機関の有する支援メニューの紹介や活用に向けた支援を行った。

- ・補助金交付件数 15件



東北大学連携ビジネスインキュベータ（T-Biz）

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

ソーシャルイノベーター育成・支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8278)

令和3年度決算額：22,298千円

令和3年度の取り組み

社会課題解決に取り組むゲストを招いたトークイベントや「デザイン思考ワークショップ」等の各種ワークショップを実施した。

また、社会起業家育成プログラム「東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター」を実施し、社会起業家に対して約半年間の集中支援を行った。地方最大級の起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」で成果発表の場を提供し、ビジネスマッチングや認知度の向上につなげた。

- ・トークイベント 開催回数 9回
参加者数 延べ601名
- ・各種ワークショップ 開催回数 13回
参加者数 延べ164名
- ・「東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター」プログラム 応募人数 31名 採択人数 13名



デザイン思考ワークショップ



成果発表会

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

課題解決型ICTプロダクト等実証支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8278)

令和3年度決算額：6,855千円

令和3年度の取り組み

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成につながる大学の研究成果やICTを活用した課題解決事業アイデアをブラッシュアップすることで、実用化に向けた様々な支援を行う集中支援プログラム「SENDAI NEW PUBLIC」を実施した。

東北大学の研究者を中心に7名を採択し、起業に向けた事業アイデアのブラッシュアップや企業とのマッチング支援、実証実験に向けた調整等を実施した。起業前の採択者については研究成果等を活用したビジネスモデルの構築ができ、起業準備段階へ進展した。起業済みの採択者については、事業展開にあたっての課題の洗い出しやターゲットの再検討を行い、仮説検証のための顧客ヒアリングを実施した。

- ・応募総数 9件
- ・採択者数 7件



SENDAI NEW PUBLIC ホームページ

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

仙台市起業支援センター アシ☆スタ

仙台市産業振興事業団 起業支援課（産業振興課）

（連絡先：022-214-8278）

令和3年度決算額：33,622千円

令和3年度の取り組み

起業予定者に対して、窓口やオンラインでの専門家による様々な助言（起業準備、資金調達、販促、事業計画、企業形態、経理等）を行うとともに、各分野の専門家を一堂に集めた合同相談会(オフライン・オンラインを併用)や、起業に必要な知識・ノウハウを起業家の課題・段階に応じて説明する各種セミナーを定期的で開催することで、起業活動の促進を図り、開業後の状況把握・経営課題解決に向けたフォローアップを行った。

令和3年6月に、国家戦略特区を活用して「仙台市開業ワンストップセンター」を交流サロン内に開設し、専門家による開業手続き相談、オンライン申請支援を実施した。

- ・開業前相談件数 1,322件
- ・開業後相談件数 516件
- ・セミナー開催回数
（オフラインセミナー 5回）
（オンラインセミナー 10回）
- ・開業支援件数 119件
- ・法人設立支援件数 23件



オンライン起業相談イメージ



開業ワンストップセンター

(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

起業啓発・促進イベント開催

産業振興課

(連絡先：022-214-8278)

令和3年度決算額：6,900千円

令和3年度の取り組み

起業に対する理解・関心を高め、起業を啓発・促進するとともに、本市へのUIターン起業や東北の起業家に対する支援・投資を呼び込むきっかけを創出するため、全国で活躍する著名な起業家による基調講演や、東北で活躍する起業家のプレゼンテーションなどを行う地方最大級の起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」を開催した。

本イベントは、東北でチャレンジする人を応援する「TGA Festival」、「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT」、「DA-TE APPS!」の3つのイベントで構成し、オンラインとオフラインのハイブリッド型で3日間開催し、ビジネスマッチングやネットワークの拡大につながる機会を提供した。

- ・来場者数 434名
- ・オンライン視聴者数 3,747名



(5) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」

次世代放射光施設関連産業振興

産業振興課

(連絡先：022-214-8768)

令和3年度決算額：17,018千円

令和3年度の取り組み

既存放射光施設を活用して多種多様な事例を創出し、その事例をもとに普及啓発を行うことで、施設稼働後の積極的な利用に繋げる「トライアルユース事業」を実施した。公募により選定された事業者がSPring-8（兵庫県）等に赴き、作業工程の最適化、自社製品の優位性の裏付け、食品加工技術の追求に関する検討等を目的とした測定を行った。

また、次世代放射光施設の利活用に向けた普及啓発のため、令和2年度「トライアルユース事業」の採択事業者による事例報告会を行った。

- ・「トライアルユース事業」 応募件数 12件
採択件数 10件



SPring-8での測定作業の様子

- ・「事例報告会」参加者数 139名

**既存放射光施設による活用事例創出の取組み
仙台市トライアルユース事例報告会**

開催日時 令和3年10月18日(月)及び19日(火) 両日とも13:00～15:00(予定)

参加者数 139名(参加費 無料)

1年度 採択事業者
株式会社アグリケイエンスイノベーション(仙台市)
株式会社東明商会
東北大学大学院農学研究所

2年度 採択事業者
株式会社ジャパン・アドバンス・ケミカルズ(西宮市)【兵庫県】
株式会社島田工務(仙台市)
株式会社東アーク
株式会社東分研センター

開催方法 Web会議システム Zoomによる
申し込み要
当日参加できない場合も、参加したい方には
必要に応じて郵送いたします。

申し込み方法 下記より事前申し込みください。
申込、参加費お支払い方法のご案内、詳細情報を
ダウンロードしてお取りいただけます。
<https://www.shiroki.eig-front.jp/nyugou/okuboku/firm.do?bn=602209403788>

申し込み締切 令和3年10月18日(水)

主催 仙台市 企画・企画推進課 産業振興課 仙台市 産業
〒980-0001 仙台市青葉区 仙台市 産業振興課 産業振興課
Tel: 022-214-8768 E-mail: shiroki@city.sendai.jp

「トライアルユース事業」事例報告会

(6) ダイバーシティ経営による人材確保

仙台「四方よし」企業大賞

経済企画課

(連絡先：022-214-8275)

令和3年度決算額：4,730千円

令和3年度の取り組み

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、社員にとってより良い職場環境づくりに取り組む「働き手よし」を加えた「四方よし」な優れた取り組みを行っている地元中小企業を『仙台「四方よし」宣言企業』として通年で募集した。

『仙台「四方よし」宣言企業』が行う「独創的な社会課題解決」や「魅力的な職場環境づくり」の取り組みを発信した。



仙台「四方よし」企業大賞

Sendai "Shihoyoshi" Corporate Award

令和元年度	大賞：株式会社未来企画 優秀賞：株式会社関・空間設計、株式会社深松組 特別賞：株式会社サムライアロハ
平成30年度	大賞：株式会社セレクトィー（個別教室のアップル 家庭教師のアップル） 優秀賞：株式会社ミツイ、株式会社ユーメディア
平成29年度	大賞：株式会社サイコー 優秀賞：株式会社清月記、株式会社グッドツリー
平成28年度	大賞：お茶の井ヶ田株式会社 優秀賞：ハリウコミュニケーションズ株式会社、株式会社ナナイロ スモリ工業株式会社

・宣言企業エントリー数 15社（累計26社）



株式会社サムライアロハ（令和年度 特別賞）、クラシタス株式会社、株式会社ステップ
株式会社福田商会、アクアビット・ファクトリー株式会社、株式会社ノースブル
ゴリラガードギランティ株式会社、株式会社日専連ライフサービス
宮城三菱自動車販売株式会社、TLS仙台株式会社、ワタヒヨウ株式会社
丸幸自動車工業株式会社、匠ソリューションズ株式会社、株式会社ゼンシン
株式会社タゼン、株式会社ソノベ、有限会社奥州秋保温泉蘭亭、鈴木工業株式会社
株式会社鐘崎、株式会社セント、株式会社ダイワ技術サービス、株式会社門間筆筒店
株式会社ジェーエーシー、株式会社キュットライフ、東洋緑化株式会社、
Nozomiプログラミング&Web株式会社

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

仙台で働きたい！プロジェクト

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：13,880千円

令和3年度の取り組み

『就活お役立ちポータルサイト 仙台で働きたい!』を運営し、就職活動に役立つ最新情報を発信した。ポータルサイトでは、地元就職支援に関する様々なサイトから企業情報やイベント情報を集約し発信するほか、地元企業で働く若手社員のインタビュー等を掲載した。

また、就職活動に臨む学生が「地元企業を知る」、「地元就職を考える」機会となるイベントを様々な内容で開催した。



就活お役立ちポータルサイト

仙台で働きたい!

<https://sendaidehatarakitai.jp/>

・ポータルサイト掲載企業 1,100社以上

・仙台で働きたい!
「WEB合同企業説明会」

参加企業数 54社

参加者数 113名



・「合同就職面接会in仙台」

参加企業数 42社

参加者数 38名



・「SENDAI業界・職種研究フォーラム2021」

視聴回数 148回



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

学生と企業の交流の機会づくり

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：253千円

令和3年度の取り組み

学生が地元企業経営者や若手社員から直接話を聞き、意見交換する場を設け、職業選択について考えるとともに、「地元で働く意義」「地元中小企業の魅力」を伝える機会を創出し、併せて企業側の意識改革や人材確保等に繋がる取り組みを行った。



オンライン合同企業説明会チラシ

- 仙台で働こう！2022オンライン合同企業説明会
参加企業数 20社
参加学生数 57名
- 大学のキャリア授業を活用した交流事業
宮城大学での講義（2回実施）
聴講者数 約330名
山形大オンライン動画配信履修者数 909名
ほか東北大学、東北学院大学で講義を行った。



オンライン合同企業説明会の様子

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

大学・企業との連携による地方創生推進

商業・雇用支援課

(連絡先: 022-214-1007)

令和3年度決算額: 2,166千円

令和3年度の取り組み

学生のキャリア支援、地元定着促進、受入れ企業の人材育成等を目的に、大学1～2年生を対象とした地元企業への5日以上インターンシップを、地元の大学や短期大学と連携し実施した。インターンシップ受入れ企業の開拓・支援のため、インターンシッププログラムの開発に向けたセミナー開催やコンサルティング支援を行った。

- 大学低学年向けインターンシップ
(夏季・対面及びオンライン)

受入企業数20社 参加学生数46名

→ コロナの影響により実施は 14社・31名

企業向けインターンシッププログラム作成セミナー

開催回数 2回

学生向けセミナー 開催回数 2回

- 大学低学年向けインターンシップ (冬季・オンライン)

受入企業数5社 参加学生数24名

地元企業

- ・インターンシッププログラムの作成
- ・社員の人材育成
- ・企業課題の発見、解決の糸口
- ・学校との連携強化



地元大学

- ・1～2年生インターンシップ参加への誘導(単位化)
- ・参加企業への助言
- ・学生のキャリア支援



仙台市

- ・参加企業への支援
- ・インターンシップフェア開催
- ・地元定着促進



大学1～2年生からのインターンシップ参加

- 就職活動前の学生に対する地元企業の周知強化
- インターンシップを通じた、地元企業と学生の相互理解の促進
- 学生向けの社会教育の充実化(業種、業界、会社、働くとは何か等)



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

奨学金返還支援事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：10,249千円

令和3年度の取り組み

地元中小企業に就職した若者の奨学金の返還を3年間補助（最大18万円/年×3年間→最大54万円）することにより、地元就職へのきっかけづくりや地元企業の人材定着を図った。

令和4年3月に新卒者（既卒3年以内含む）として協力企業に正規雇用で就職する学生を対象に募集を行い、定員140名に対し120名を支援対象者として認定した。

- 認定支援対象者数 120名（令和4年3月卒業者）
（参考）令和4年3月卒業者 65名認定
令和4年3月卒業者 115名認定
- 認定協力企業数 172社（令和4年3月末）

【支援の条件】

対象企業に就職し、奨学金の返還を行っていること

【対象企業】

- 市内に本社を置く中小企業、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等
- 市外本社の場合は、市内に事業所があり、そこで働く者を採用する中小企業、社会福祉法人、医療法人、NPO法人等



【支援対象者】

新卒者として対象企業に正規雇用で就職する者（大学、大学院、短大、高専、専修学校専門課程の者。既卒3年以内含む）



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

高校生向けフィールドスタディ（職業体験）

商業・雇用支援課

（連絡先：022-214-1007）

令和3年度決算額：5,595千円

令和3年度の取り組み

今後の地域経済を担う高校生を対象に、地元産業・企業の魅力や社会的意義を知ってもらい、将来の地元就職やUターンにつなげることを目的として、地元企業の仕事を体験できる職業体験イベントを開催した。

・職業体験イベント「未来ビュー仙台」の開催

来場生徒数	1,320名
ブース出展企業数	13社
ブース訪問生徒数	628名



仙台市 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺



職業体験ブースの様子

高校生の職業意識を醸成し、将来的な地元就職やUターンを促進する観点から、会社見学・職場体験の一環として、企業の取り組み事例を題材に地域社会の課題解決を考える探求学習プログラムを実施した。

・探求学習プログラム「Locus」の実施

受入企業数	30社
参加生徒数	317名



探求学習の様子



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

合同企業説明会

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：2,248千円

令和3年度の取り組み

地域産業の担い手となる人材の確保及び定着を促進するため、宮城県及び宮城労働局と合同で、新規卒業予定者（高校生、大学生）等を対象とした合同企業説明会や就職面接会等を開催した。

・「高校生のための合同企業説明会」

参加企業数 86社 参加生徒数 901名

・「新規高等学校卒業予定者就職面接会」

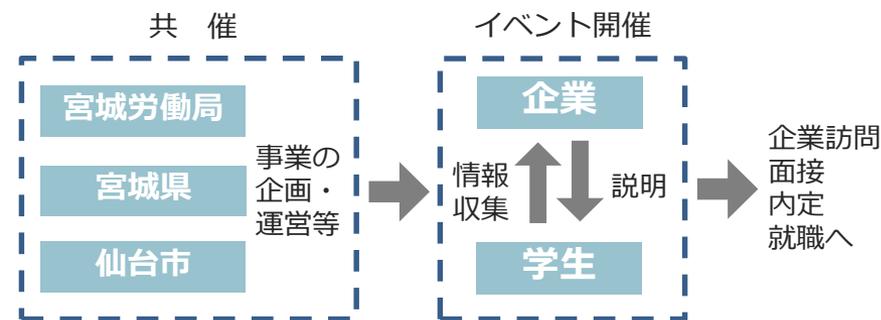
参加企業数 80社 参加生徒数 314名

・「仙台地域ミライ企業図鑑～地域産業説明会」

参加企業数 35社 参加生徒数 470名

・「みやぎ就職ガイダンス」

参加企業数 72社 参加学生数 102名



企業説明会の様子



(6) ダイバーシティ経営と人材確保

UIJターン就職促進事業 移住支援金

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：25,349千円

令和3年度の取り組み

【UIJターン就職促進事業】

東北の各自治体と連携し、令和5年3月卒業予定の大学生等を主な対象として、東北の地元企業が参加する就活イベントを開催した。また、首都圏の大学生を対象に、仙台への関心度向上やUIJターン就職の促進を図る観点から、地元企業と交流しながら販促企画や新規事業の提案を行うワークショップを開催した。

・「山形/仙台/東北ワークフェス (WEB企業・業界研究会)」

参加自治体：

仙台市、山形市、青森市、弘前市、八戸市、
秋田市、福島市、郡山市、いわき市

参加企業数 31社、参加学生数 63名

・「仙台市・山形市へのUIJターン就職 を応援！業界研究セミナー」

参加企業数 6社、参加学生数 13名



・「首都圏大学合同ワークショップ」

協力企業数 2社

参加学生数 20名



宮城県内の市町村や企業が、移住後の暮らしや仕事のことなどを案内する宮城県主催オンラインイベントに参加し、移住検討者からの相談や質問を受け付けた。

・「宮城まるごとOnline移住フェア」

個別相談者数 6名



【移住支援金】

東京圏からの移住者のうち、テレワークや地元の対象企業に就職した方などを対象に、移住支援金を交付した。

・交付件数 29件、交付合計金額 24,600千円

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

雇用支援事業

仙台市産業振興事業団 人材確保支援課（商業・雇用支援課）

（連絡先：022-724-1116）

令和3年度決算額：5,329千円

令和3年度の取り組み

企業の採用力強化やダイバーシティ経営の推進につながる取り組みを支援することで、地元企業が抱える人材の採用・定着といった課題の解決に加え、多様な人材が中小企業で活躍する社会づくりを促進した。

学生・求職者に選ばれる企業づくりを支援するため、採用コンサルティングとセミナーを実施した。また、個人（学生・求職者・在職者）のキャリア支援のため、無料職業紹介や仕事の悩み相談（キャリア・コンサルティング）、オンライン就活用スペース運営等を実施した。

- ・採用コンサルティング
利用企業数 16社（延べ42回）
- ・人事セミナー
開催回数 12回、参加者数 504名
- ・無料職業紹介件数 333件
- ・キャリア・コンサルティング
実施回数 55回、参加者数 298名
- ・就活用スペース貸し出し件数 209件

- solutions -

こんなお悩みにお応えします



採用ホームページの作成



企業パンフレットの製作



企業説明会や面接のノウハウ



キャリア・コンサルティングの様子

(6) ダイバーシティ経営と人材確保

多様な人材活躍推進事業

仙台市産業振興事業団 人材確保支援課（商業・雇用支援課）

（連絡先：022-724-1116）

令和3年度決算額：6,425千円

令和3年度の取り組み

台湾のオンライン合同企業説明会（JOB博）への参加や台湾の5大学と連携した仙台での就労をPRする交流会の開催を通じて、高度外国人材と地元企業とのマッチングを図るとともに、大学生等に対する海外留学や海外インターンシップの支援により、仙台エリアにて就職または起業するグローバルな視点を持った人材の育成を図った。

また、多様な人材が活躍できる職場環境の整備等に資する新規ソリューションビジネスを支援する働き方改革促進ビジネス開発委託事業の実施等により、地元企業の働き方改革の促進を図った。

- 台湾の大学とオンライン交流イベント等
開催回数 11回、参加者数 431名（右表参照）
- グローバル人材育成支援（海外留学奨学金）
支援者数 1名
- 働き方改革促進ビジネス開発委託
採択数 3件

催事名	参加者数
2022日系企業合同就職説明会 JOB博 ONLINE in 台湾	35名
台湾海洋大学オンライン仙台企業交流会	70名
文藻外国語大学オンライン仙台就業説明会	17名
義守大学オンライン仙台就業説明会	70名
台湾海洋大学オンライン仙台企業交流会	70名
東海大学オンライン仙台就業説明会	30名
義守大学オンライン仙台就業説明会	70名
台北芸術大学オンライン仙台企業交流会	14名
台湾海洋大学オンラインセミナー	45名
台北芸術大学オンラインワークショップ①	7名
台北芸術大学オンラインワークショップ②	3名



台湾海洋大学との交流会の様子



(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

企業立地促進

企業立地課

(連絡先：022-214-8245)

令和3年度決算額：510,616千円

令和3年度の取り組み

首都圏を中心とした企業に直接訪問したほか、オンラインミーティングなどの手法を活用し、本市の立地環境や各種支援施策のPRを行った。

リサーチコンプレックスに関するニーズ調査や企業訪問を実施するとともに、次世代放射光施設の認知度向上を目的としたオンラインセミナーを開催した。

また、企業立地促進助成制度等を活用し、本市への企業立地を促進した。

- ・ 訪問件数 125社（オンラインミーティング含む）
- ・ 立地件数 18件



進出企業による立地表明式



オンラインセミナー開催



(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

仙台港周辺地区復興支援

企業立地課

(連絡先：022-214-8245)

令和3年度決算額：8,955千円

令和3年度の取り組み

仙台蒲生産業団地について、当該団地への産業集積を図るため、市有地の利活用を希望する事業者の募集や契約に関する手続きを円滑に実施した。

また、市有地の一部について、高砂コンテナターミナルのサブヤードとなるコンテナシャーシ置き場として、コンテナ運送事業者等への貸し付けを行った。

震災前の水準以上に回復した仙台港区のコンテナ取扱量のさらなる増加を目指し、官民一体となった枠組みによって各種事業を行った。

- ・市有地利活用事業者募集による決定数 9件



仙台港区航空写真（令和2年5月31日撮影）
提供：仙台国際貿易港整備利用促進協議会



蒲生北部地区市有地事業者決定状況等（令和4年3月現在）

(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

次世代エネルギーの創出促進

環境局地球温暖化対策推進課

(連絡先：022-214-8057)

令和3年度決算額：805千円

令和3年度の取り組み

特定のエネルギー源に過度に依存せず、災害に強くエネルギー効率の高いまちづくりを目指し、クリーンで安定的なエネルギーの製造・供給を行う事業所や次世代エネルギー等の研究開発・実証実験を行う民間事業者について、事業の指定及び助成を実施した。

このほか、「仙台防災未来フォーラム2022」においてエネルギー自律型まちづくりの取り組みにかかる成果の発信や下水を活用した産学官連携による藻類バイオマスプロジェクトの推進、大学及び民間事業者とのエネルギーに関する共同研究を実施した。

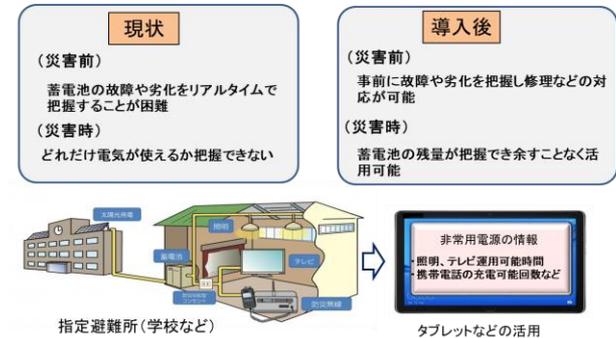
- ・創エネルギー導入促進助成 補助件数 1件
補助金額 600,000円
- ・展示会出展回数 1回



「仙台防災未来フォーラム2022」での展示の様子



藻類バイオマスプロジェクトの推進体制



大学・民間事業者との共同研究
(東北大学・(株)NTTドコモと災害対応型エネルギーマネジメントに係る共同研究)

(8) その他産業振興に係る事業

中小企業者金融支援事業（復旧復興）

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：5,164千円

令和3年度の取り組み

東日本大震災からの復旧・復興に向けた取り組みとして、東日本大震災で被災した中小企業者が、本市融資制度及び商工会議所等が指導・推薦する小規模事業者経営改善資金震災対応特枠を利用した場合、その利子及び保証料について補給することで、地元中小企業の早期復旧と事業再建を支援した。

【本市融資制度利子及び保証料補給】

下記条件により、被災事業者に対して利子及び保証料補給を行った（申請・交付は年2回）。

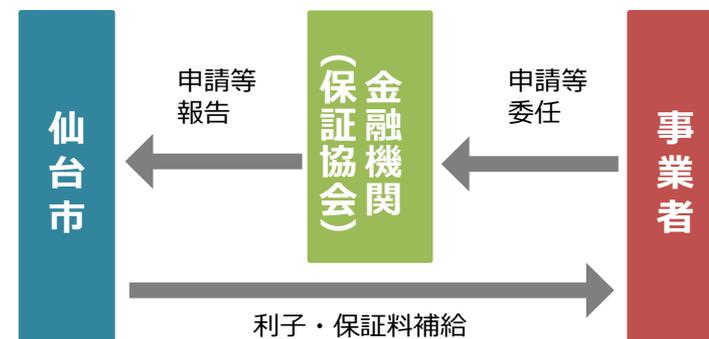
- ・補給対象となる融資限度額 3,000万円
- ・補給対象期間 3年
- ・利子保証料補給実績 79件、4,734千円

【小規模事業者経営改善資金利子補給】

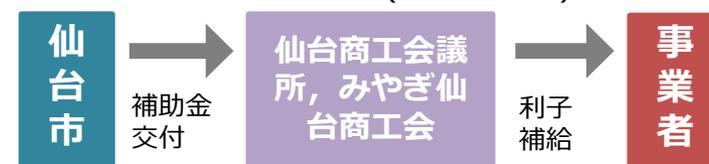
仙台商工会議所及びみやぎ仙台商工会が実施する日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金震災対応特枠（災害マル経）の融資を受けた者が支払った利子を補給する事業に対し、当該補給額相当分を補助金として交付した。

- ・利子補給実績 53件、430千円

【本市融資制度】



【小規模事業者経営改善資金(災害マル経)】



(8) その他産業振興に係る事業

事業復興型雇用創出事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：7,658千円

令和3年度の取り組み

市内中小企業が雇用のミスマッチ分野等において東日本大震災で被災した求職者を雇い入れる場合に、仙台市事業復興型雇用創出助成金（中小企業型）を支給し、他の産業政策と一体となって支援を行うことで、被災地域の雇用を促し、人手不足解消を図った。

【対象事業所】

市内（宮城野区・若林区・太白区）に事業所を有し、中小企業基本法第2条第1項に規定する中小企業者に該当する事業所等で、指定の支援施策を受けていること。

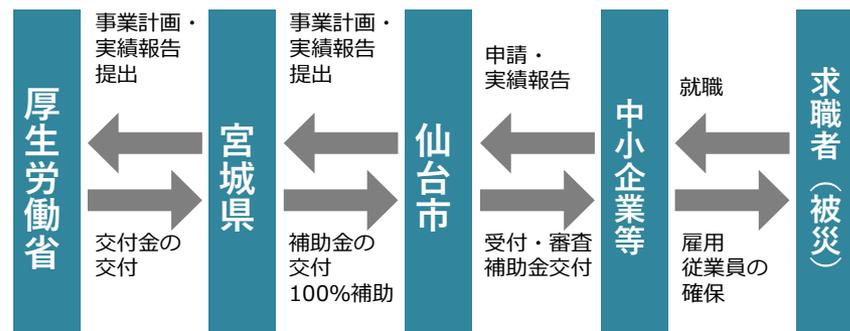
【雇入費助成額】

被災三県求職者の雇入れ1人あたり120万円（短時間労働者は60万円）を助成。1事業所につき2,000万円（3年）を上限とする。

【助成金交付実績】

対象事業所数 7事業所、対象労働者数 26名

【スキーム】



3.農業の持続的発展

- (1) 収益性の向上と所得の確保
- (2) 経営体の確保・育成
- (3) 魅力ある地域の形成
- (4) 生産基盤の強化

(1) 収益性の向上と所得の確保

農食ビジネス推進①

(拠点施設活用)

農政企画課

(連絡先：022-214-8266)

令和3年度決算額：130,478千円

令和3年度の取り組み

民間活力の導入により再整備されたせんだい農業園芸センターについて、施設の管理・運営や研修事業など関連事業への補助等を通じて、農業者等の人材育成及び市民が農と触れ合える拠点施設としての活用を進めた。

【収益性の高い農業推進支援拠点】

農業従事者の収益向上や新規就農促進を図るため果樹栽培研修などを開催した。

また、ICT活用の先進技術を取り入れた施設園芸の視察受け入れや、果樹の摘み取り体験などを行った。

【農と触れ合う交流拠点】

農業体験などのイベントを開催した。

- ・年間入場者数 310,324名

【施設の長寿命化】

令和4年度から順次行う改修工事の実施設計を行った。



せんだい農業園芸センター全体図

拠点A
「収益性の高い農業推進支援拠点」



拠点B
「農と触れ合う交流拠点」

(1) 収益性の向上と所得の確保

農政企画課

農食ビジネス推進②

(6次産業化推進・地産地消推進・その他農食ビジネス推進)

(連絡先：022-214-8266)

令和3年度決算額：29,943千円

令和3年度の取り組み

【地産地消機会創出のための情報発信】

ホームページやSNSを活用し、地産地消に関する情報発信を強化した。



とれたて仙台ホームページ

【学校給食向け環境保全米生産補助】

市内の学校給食へ提供する環境保全米を確保するために、市内農業者による環境保全米の生産を支援した。

・学校給食向け環境保全米生産補助金交付額

2,303千円

【6次産業化等チャレンジ支援事業】

市内農業者の6次産業化に向けた取り組みに対し専門家等による指導の支援を行った。

・新商品開発件数 2件

【農食ビジネスモデル構築事業】

鮮度が落ちやすい枝豆を朝に収穫し、独自の流通ルートによってその日のうちに飲食店や量販店に届け、消費者に提供する「今朝採り枝豆」等の付加価値の高い農産物に係るビジネスモデルの構築を進めた。

・今朝採り枝豆取扱店舗数 60店舗

・仙台井土ねぎ取扱店舗数 11店舗

・原木しいたけ取扱店舗数 1店舗



(1) 収益性の向上と所得の確保

高付加価値農業推進

農業振興課

(連絡先：022-214-8335、8334)

令和3年度決算額：3,280千円

令和3年度の取り組み

【安全・良質な農産物生産推進】

地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献する環境に優しい農業の取り組みの推進を行った。

- ・環境保全型直接支払交付金交付額 680千円 (2件)

【野菜生産農家経営安定事業】

野菜農家が安心して生産できるよう、価格変動による経営への影響を緩和する取り組みを行った。

【畜産農家への支援事業（和牛増頭推進事業）】

優良で高品質な和牛産出を実現するため、和牛受精卵の移植技術等に要する経費に補助金を交付した。

- ・和牛増頭推進事業補助金交付額
1,089千円 (15件)

【農業生産工程管理（GAP）の普及促進】

農業における食品安全、環境保全、労働安全などの持続可能性を確保するため、生産管理、効率性及び経営意識の向上に資する取り組みを行った。

- ・GAP制度についての研修会開催回数 1回



GAP制度についての研修会の様子

(1) 収益性の向上と所得の確保

水田フル活用推進

農業振興課

(連絡先：022-214-8335、7327、8334)

令和3年度決算額：102,920千円

令和3年度の取り組み

【水稲経営継続支援事業】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和3年度米の概算金が下落したことを受け、生産者に対し、経営継続に向けた支援金を支給した。

- ・水稲経営継続支援金の交付額

88,316千円 (1,088件)

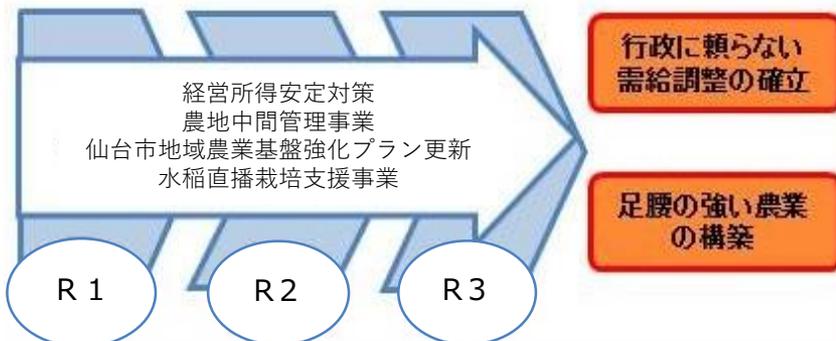
【農地中間管理事業等】

農地の貸付を希望する土地所有者から農地中間管理機構が農地を借り受け、地域の担い手に貸し付けることで、農地の有効な利用および担い手の経営の効率化を支援した。

- ・農地中間管理事業による契約面積

193.1ha (1,185筆)

【事業計画】



【経営所得安定対策】

需給動向を踏まえた米の計画的な生産を推進し、麦・大豆などを主体とした集団転作体系の定着・拡大を図った。また、稲作と転作を組み合わせた収益性の高い水田農業の確立に向けた取り組みを行った。

【仙台市地域農業基盤整備強化プラン】

地域ごとに、今後地域の農業を中心的に担う個別経営体、法人経営体、集落営農組織等の育成や、農地集積等の取り組みに関する、地域農業の将来像を定めるプランの見直しを行った。

- ・令和3年度取り組み地区数 6地区

【水稲直播栽培支援事業等】

直播栽培の促進を図るため、当該栽培に取り組む地域の担い手等に対して、経費の一部補助を行った。

- ・大規模水稲直播栽培団地育成事業補助金交付額

1,160千円 (5件)

- ・水稲直播栽培支援事業補助金の交付額

185千円 (7件)

(2) 経営体の確保・育成

農業担い手総合支援

農業振興課

(連絡先：022-214-7327)

令和3年度決算額：17,221千円

令和3年度の取り組み

【担い手の育成・支援】

農業経営に意欲的に取り組む農業者等を認定農業者として認定・育成するとともに、新規就農者、集落営農組織など、多様な担い手に対して支援を行った。

- ・ 農業次世代人材投資資金交付人数 7名
- ・ 新規就農小規模農業機械助成事業採択件数 2件
- ・ せんだい次世代農業経営者育成ゼミ参加者数 7名
- ・ 農林漁業振興資金利子補給支給件数 6件



せんだい次世代農業経営者育成ゼミ
(左) 講義、(右) ゼミ生が企画したマルシェ

【次世代アグリヒロイン活躍支援事業】

女性農業者が活躍する経営体の育成を目標とし、次世代の女性農業者の掘り起こしを行うとともに、女性農業者を対象とした研修会を実施した。

- ・ 研修会開催回数 2回



加工実習の様子

(2) 経営体の確保・育成

経営体育成

農業振興課

(連絡先：022-214-7327、8335)

令和3年度決算額：1,900千円

令和3年度の取り組み

【農業法人等収益向上支援事業】

地域特性にあった付加価値の高い園芸作物の導入等を通し、農業経営の複合化、栽培技術の向上、労働時間の省力化、生産経費の削減、営農意欲の向上等に一体的に取り組むことで、法人の経営全体を捉えた「高収益化」を目指したモデル事業の構築を行った。

- ・農業法人等収益向上支援事業による支援件数 1件



【スマート農業推進事業】

農業分野における「スマート農業」を支援するため、産業用マルチローター（通称：農業用ドローン）を操縦するオペレーターを確保する集落営農組織等に対して、経費の一部を補助した。

- ・ドローンオペレーター育成支援事業補助金交付額

200千円



オペレーターによるドローンの操縦

【強い農業・担い手づくり総合支援事業】

経営改善・発展に向け、地域の中心となる経営体等が行う、融資を活用した農業用機械・施設の導入等の取り組みを支援した。

- ・強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金交付額

650千円（1件）

(2) 経営体の確保・育成

農業用機械・施設等整備費補助

農業振興課

(連絡先：022-214-7327)

令和3年度決算額：7,176千円

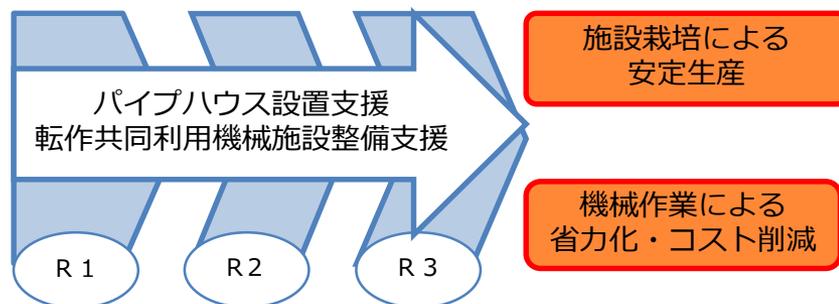
令和3年度の取り組み

【施設園芸推進（パイプハウス設置等）事業】

農業所得の向上と生産の安定に向け、パイプハウス設置等に対する支援を行った。

- ・施設園芸推進事業補助金交付額 3,613千円（11件）

【事業計画】



補助金で整備したパイプハウス

【転作共同利用機械施設整備事業】

需要に対応した生産に継続的に取り組むとともに、生産性の高い水田営農を確立し、稲以外の作物の作付けを図るため、生産に必要な機械及び施設を整備する費用の補助を行った。

- ・転作共同利用機械施設整備事業補助金交付額

3,563千円（1件）



補助金で導入したコンバイン

(3) 魅力ある地域の形成

多面的機能維持

農業振興課

(連絡先：022-214-8334)

令和3年度決算額：130,566千円

令和3年度の取り組み

【中山間地域等直接支払交付金】

農地の中でも傾斜地が多く、平坦地より負担の多い中山間地における農業生産活動の維持や耕作放棄地の発生防止等を目的として、草刈り等の共同活動を支援した。

- ・活動組織数 11組織
- ・対象面積 182ha



交付金を活用して保全された農地

【多面的機能支払交付金】

土砂災害の防止や生態系保全といった農地の持つ多面的機能の発揮により、農業生産活動の維持や耕作放棄地の発生防止等を目的として、草刈り等の共同活動を支援した。

- ・活動組織数 52組織
- ・対象面積 315ha



交付金を活用した共同作業の様子

(3) 魅力ある地域の形成

農業振興課

有害鳥獣対策

(連絡先：022-214-8334)

令和3年度決算額：26,219千円

令和3年度の取り組み

野生鳥獣による農作物等への被害対策として、防護柵の設置支援と併せて捕獲体制の充実を図った。

【防護柵の設置等に関する取り組み】

- ・防護柵設置補助件数 82件 30.8km
- ・ワイヤーメッシュ柵の維持管理支援団体数 13団体



防護柵の設置状況

【捕獲等に関する取り組み】

- ・イノシシ捕獲頭数 811頭
- ・仙台市鳥獣被害対策実施隊隊員数 82名
- ・地域ぐるみの捕獲対策実施地区数 42地区 575名
- ・箱わな導入数 66基
- ・くくりわな導入数 56基
- ・狩猟免許取得のための講習会料助成件数 4件



地域ぐるみの捕獲対策
従事者に対する説明会

(3) 魅力ある地域の形成

農林土木課

森林管理

(連絡先：022-214-8264)

令和3年度決算額：29,419千円

令和3年度の取り組み

【市有林管理事業】

市有林の経済的価値の向上や、水源涵養、土砂災害防止等の多面的機能の発揮を図るため、市有林において、仙台市森林経営計画に基づき計画的に除間伐等を実施した。



市有林の間伐

・ イベント参加者数

- (1) 下刈りボランティア 58名
- (2) 市民育樹祭 ※雨天中止
- (3) 夏休み親子木工教室 79名



【みんなの森づくり事業】

市民の森林・林業への意識高揚及び生産者との交流の強化を図るため、各種林業関連イベントを実施した。

- (1) 下刈りボランティア ・ 6月実施 定員80名
- (2) 市民育樹祭 ・ 10月実施 定員100名
- (3) 夏休み親子木工教室 ・ 7月～8月実施 定員80名
(40組)



(3) 魅力ある地域の形成

農林土木課

林業振興

(連絡先：022-214-8264)

令和3年度決算額：96,703千円

令和3年度の取り組み

【民有林振興事業】

(1) 林業事業者が行う森林施業等の事業費に対し補助を行った。

・補助金交付額

スギ花粉発生源対策事業 600千円 (間伐7ha)

山の幸振興総合対策事業 482千円

(2) 森林ボランティアを担う人材を養成する目的で、希望する市民を対象に講座を開催した。

・森林アドバイザー養成講座参加者数 16名

【森林病虫害防除事業】

森林病虫害駆除 (約340㎡) を実施し、蔓延する松くいやナラ枯れ被害を減少させることにより、被害の拡大防止を図った。

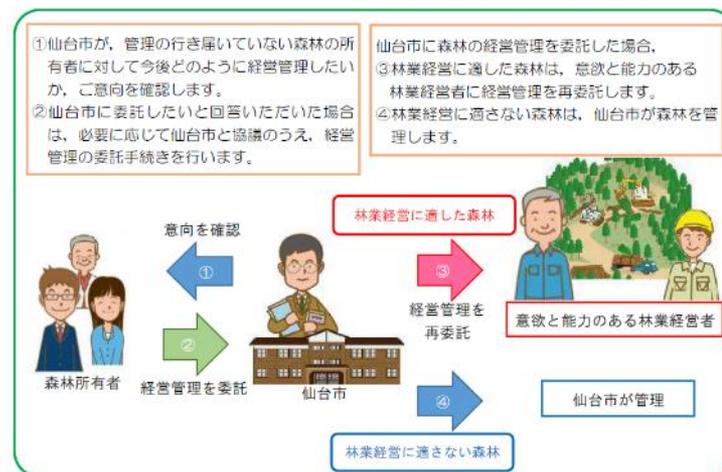
【森林管理制度の運用】

(1) 森林経営管理集積計画に係る事前調査等業務

森林経営管理制度に基づく森林経営管理集積計画の策定に必要な、森林資源等の情報整備及び森林の経営管理に係る意向調査を行った。

(2) 森林経営管理集積計画作成

仙台市に経営管理を委託する意向のある森林において、森林経営管理集積計画 (0.84ha) を作成した。



(3) 魅力ある地域の形成

林業基盤整備

農林土木課

(連絡先：022-214-8264)

令和3年度決算額：60,775千円

令和3年度の取り組み

【林道維持管理】

(1) 林道巡視調査

市内の林道の定期的な巡視調査を行った。

(2) 林道小修繕

林道巡視調査により発見した異常個所の修繕や大雨等による路面洗掘等の修繕を行った。

(3) 除草・除雪

生活道路機能を確保するため除草及び除雪を行った。

【林道整備】

(1) 舗装の劣化が激しい林道夜盗沢奥武士線の舗装を一部補修した。



補修前

補修後

(2) 森林経営管理制度の運用を予定している泉区朴沢地区において、施業予定森林に接続する林道高野原線の路面舗装を行った。



舗装前

舗装後

【七ッ森湖～泉ヶ岳線林道開業事業】

仙台市泉ヶ岳地区から大和町吉田地区を結ぶ林道の開設について、事業主体となる宮城県に対し、事業実施に伴う負担金を拠出した。

(4) 生産基盤の強化

農業用施設管理

農林土木課

(連絡先：022-214-8268)

令和3年度決算額：105,059千円

令和3年度の取り組み

【農業用施設の維持管理】

農業の生産性向上と災害に強い農村環境の確保に向け、農業用施設の修繕や土砂浚渫・除草等の管理を行った。

(1) 農業用施設の修繕



排水機場ポンプ



農業用水路修繕

(2) 農業用施設浚渫

- ・土地改良区・水利組合への補助金交付
- ・防災重点ため池の浚渫（浸水対策事業）



水路土砂堆積状況



水路土砂浚渫後

(3) 農業用施設除草・清掃



水路除草前



水路除草後

【売電収入の確保】

大沼太陽光発電所および朴沢小水力発電所による売電収入により、施設の維持管理に必要なコストの低減を図った。

- ・電力売払代金 26,478千円



大沼太陽光発電所



朴沢小水力発電所

(4) 生産基盤の強化

農業用施設整備

農林土木課

(連絡先：022-214-8268、7328)

令和3年度決算額：1,300,726千円

令和3年度の取り組み

【農業用施設の整備・補修・長寿命化対策】

農業の生産性向上と災害に強い農村環境の確保に向け、用排水路やため池等の整備・改修を実施した。

(1) 幹線水路改修 6件



高砂水路長寿命化対策工事

(2) 農業用用水路整備 4件



竹ノ内水路



新苦地水路

(3) 農道整備 5件



野村農道舗装整備

(4) ため池整備 3件



森安ため池整備

(4) 生産基盤の強化

農業用施設調査・計画策定

農林土木課

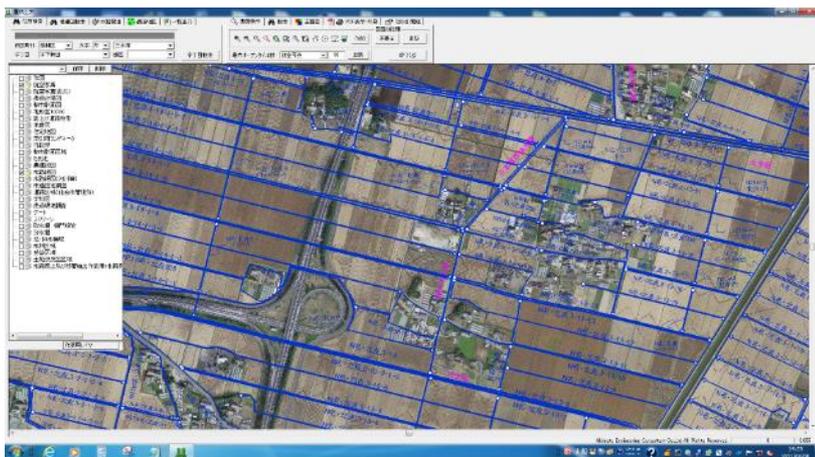
(連絡先：022-214-8268、7328)

令和3年度決算額：11,212千円

令和3年度の取り組み

【仙台東地区ほ場整備事業データ更新】

国直轄事業である仙台東地区ほ場整備事業の完了に伴い、整備後の農業用施設データの更新を行い、施設の適切な維持管理を図った。



【防災重点ため池等監視システム整備】

災害の発生時にため池の状況を速やかに把握するため、防災重点ため池等に監視システム（水位計、定点カメラ）を整備し、運用を開始した。



監視カメラでため池の状況および水位を執務室で監視する

水位計：ため池の水位の確認
監視カメラ：ため池の状況の確認



監視カメラ拡大写真

(4) 生産基盤の強化

土地改良事業

農林土木課

(連絡先：022-214-8268、7328)

令和3年度決算額：54,002千円

令和3年度の取り組み

【農業基盤及び管理体制整備事業】

西部地区で農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用したほ場整備（農業生産基盤整備）を推進した。

・整備面積

大倉日向地区 17.1 ha

倉内・大針地区 37.0 ha

秋保野尻地区 約14 ha

＜西部地区農業生産基盤整備計画＞

地区名	受益面積	R元	R2	R3	R4	R5
大倉日向地区	13.6ha	計画・採択申請	詳細設計・工事・支援事業・換地業務			
倉内・大針地区	29.0ha	調査・計画	計画・採択申請	詳細設計・工事・支援事業・換地業務		
秋保野尻地区	約14ha	調査	調査・計画		計画・採択申請	

【土地改良区の自主事業への支援等】

(1) 小規模土地改良事業

土地改良区が自ら行う施設の更新や土水路等の整備に対して一部支援することにより、土地改良区及び農家負担の軽減を図った。

(2) 土地改良区組織強化

土地改良区の経営などの強化を図り、営農者同士が水利施設などの適正な維持・管理を通して、生産性や地域コミュニティ等の確保を図った。



4.仙台中央卸売市場

- (1) 管理課
- (2) 業務課
- (3) 花き市場
- (4) 食肉市場

令和3年度の取り組み

【管理課】

安心・安全な生鮮食料品を安定的に供給し続けることができるよう施設の整備を行った。

また、老朽化した中央卸売市場本場の再整備のため、令和2年度に実施した市場再整備に関する意向調査の結果を踏まえ、令和3年度は、再整備のケーススタディや事業費、スケジュールの想定等を行う調査検討業務を実施した。



【業務課】

安心・安全な生鮮食料品を安定的に供給し続けることができるよう、取引に関する指導・監督を適正に実施した。

また、コロナ禍にあっても市場機能を停止できないことから、卸売市場関係団体で定められたガイドラインに基づき、マスクの着用や手洗い、検温、体調確認を行うなど基本的な感染予防対策について、市場内への周知徹底に努めた。



マスク着用の巡回指導の様子

令和3年度の取り組み

【花き市場】

生花を安定的に供給し続けることができるよう、取引に関する指導・監督を適正に実施した。

また、販売促進の一環で、地元テレビ局と連携し、情報番組の視聴者参加型コーナーの賞品として、市場の花き部運営協議会から花の商品券を提供する企画を実施した。



全国の花ステーション加盟店で使える
「花の商品券5,000円分」をプレゼント
(仙台市中央卸売市場花き部運営協議会)

【食肉市場】

食肉の安全・安心及び安定供給に向けて、基幹設備の改修や、豚熱等の家畜伝染病対策等を実施した。

- ・ 汚水処理施設改築、管理棟東棟屋上及び外壁改修、市場棟冷凍機及び高架軌条設備改修等
- ・ 正門車両消毒設備（タイヤ消毒槽）の設置
- ・ HACCP（と畜場・加工場）に基づく衛生管理の実施
- ・ 開設記念共進会等のイベント開催



共進会の様子